



特集 3

各地域団体で取組まれている事例(新規掲載事例)の紹介

(産学官データ連携によるより良い街づくりモデルー4)

子育て・防災情報を提供するアプリ「かわさきアプリ」 (神奈川県川崎市、富士通株式会社)

〔概要〕

川崎市は、数多くの公共情報の中から子育て情報や防災情報などのオープンデータを集約し、スマートフォンから子育てや防災に関する必要な情報を、わかりやすく、効率的かつタイムリーに入手することができるアプリを提供した。

〔コラム〕

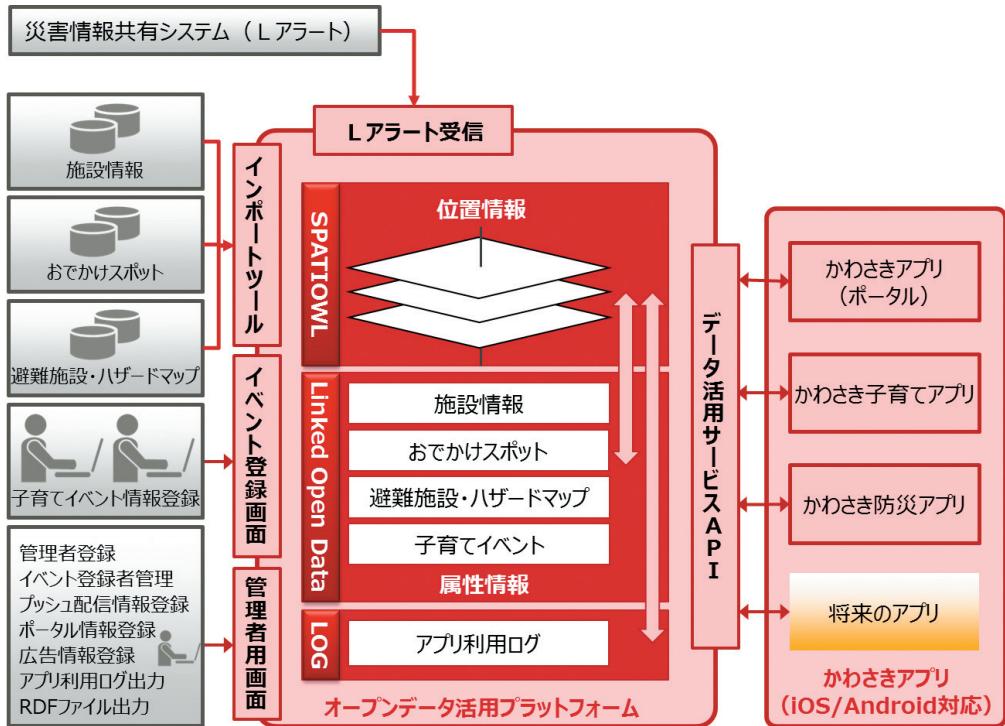
(1) サービス・事業の背景、経緯

2015年1月から2月に、行政の情報をオープンデータ化し、位置情報とLODを活用した子育て支援アプリの実証実験を川崎市麻生区で実施した結果、アプリ利用者の約8割（0歳児の親の9割以上）が継続利用を希望したことから、子育て情報のアプリを市内全域に展開する事になった。また、子育て情報とともに市民のニーズが高い、災害時に必要な避難情報が入手できる防災情報のアプリもあわせて提供することになった。

(2) サービス・事業内容の詳細

子育てイベントやおでかけスポット、避難施設などの位置情報を管理する「SPATIOOWL」^(注1)とその属性を管理するLOD^(注2)に災害情報共有システム（Lアラート）^(注3)が発信する情報の受信機能を加え、これらを連携させたシステムおよびデータ活用サービスAPI^(注4)をオープンデータ活用プラットフォームとして、クラウド環境に構築した。子育てイベントやおでかけスポット、避難施設の位置情報をキーとした検索は「SPATIOOWL」を活用し、各種カテゴリー・対象などの属性情報をキーとした検索はLODを活用することで、効率的なデータ利用を実現する。

(3) サービスイメージ



(4) アプリの主な機能・特長

(1) かわさきアプリ（ポータル）

- ・かわさき子育てアプリ・かわさき防災アプリなどのアプリや、医療施設等のウェブサイトへつながるリンクを提供する。また、アプリに関するお知らせ情報を配信する。

(2) かわさき子育てアプリ

- ・利用者に適した子育てイベント情報、子どもと行くおでかけスポット情報、医療機関情報の閲



かわさき子育てアプリの画面イメージ

特集3 各地域団体で取組まれている事例(新規掲載事例)の紹介

覧機能を提供する。

(3) かわさき防災アプリ

- ・避難所開設情報、気象情報（警報）、地震の震度情報などを緊急時に通知し、通常時は、避難施設、ハザードマップの情報を提供する。



(5) 今後の展開

「かわさきアプリ」で構築した環境を元に、施設、イベント、施設の空間利用情報などのモノ・コト情報や位置情報を活用し、「観光アプリ」、「高齢者生活支援アプリ」、「防犯アプリ」、「公共交通案内アプリ」など、様々なアプリの提供を想定している。

〔問い合わせ先〕

- ・富士通株式会社
- ・電話番号：0120-933-200 富士通コンタクトライン（総合窓口）

【注釈】

- 注1：SPATIOWL(スペシオウル)：大量の位置情報の統合的な管理・活用、解析を可能とする富士通のクラウドサービス。
- 注2：LOD(Linked Open Data)：Web関連技術の標準化団体W3C(World Wide Web Consortium)が推奨する、Web上で新しいデータ公開形式であるLinked Data形式で公開されているデータセット群。機械処理が容易で特定のアプリケーションに依存しないRDF(Resource Description Framework)と呼ばれるデータ表現形式を使用。
- 注3：災害情報共有システム(ニアラート)：一般財団法人マルチメディア振興センターが提供する、住民が必要とする安心・安全に関わる公的情報を迅速、正確に住民に伝える情報基盤。
- 注4：API:Application Programming Interface